未来予想図（みらいよそうず）

寝屋川市立梅が丘小学校　　２０２３・６・２７

校長室通信　　No. １０

「叱る（しか）」とは・・・

先日、ある学級の掲示板に、次のような内容の文書が貼ってあるのを見かけました。

> **「叱る」とは、**
> いま目の前にいるこの人は、「絶対にこのままでは終わらないんだ。今の状態よりも必ず良くなるんだ。」
> と、**その人の可能性を信じることなんです。**
>
> 【出典】致知出版社『１日１話　読めば心が熱くなる365 人の仕事の教科書』より
> アーティスティックスイミング日本代表ヘッドコーチ
> 井村　雅代　著『人を叱る三つのコツ』より引用

今から400 年ほど前に、「徳川家康（とくがわ　いえやす）」という人がいました。江戸幕府をつくった人ですが、今、NHK 大河ドラマ「どうする家康」という番組も放映されているので、知っている人もいるかもしれませんね。

彼は、小さいときに、現在の静岡県あたりに勢力を持っていた今川義元（いまがわ よしもと）という人の人質になります。人質ですから、いつ殺されるかわかりません。そんな不安な思いで、今川義元の前に連れて行かれたとき、今川義元は、しばらく家康の顔を見ていたあと、家来たちに、こんなことを命令しました。

「これから、この家康が欲しいと言えば、何でも与えよ。したくないことは、無理にさせるな。何でも、家康の言うことを、すべてきいてやれ。」

みんなは、なんと今川義元は優しい人だと思うでしょう。でも、それは大きなまちがいなのです。今川義元は、家康の顔を見たとたん、これはすごい人物になる。そうなる前に、家康を「だめな人間」にしてしまおうと考えて、このように言ったのです。

人間をだめにしようとすれば簡単です。何でもその人の言うことを聞いてあげればいいのです。欲しいものを何でも与え、悪い行動を行っても、叱ることはいっさいせず、甘やかし続ければいいのです。そうすれば、その人は自分勝手な人間になります。

そのような人が、お殿様になれば、国は乱れ、戦う前にその国は滅びてしまいます。今川義元は、それをねらったのです。幸い、家康と一緒にやって来た家来が、この計画に気づき、今川義元の作戦は失敗します。

みんなのことを「大切だと思っている人」は、みんなの言うことを何でも聞いてくれる人ではありません。本当のやさしさには、厳しい叱りがともなうものです。おうちの人や学校の先生をはじめ、みんなの周りの人たちには、みんながすばらしい人間になってほしいという強い思いがあります。これからも、ぜひ、その思いをしっかりと受け止めてほしいと思っています・・・。

水泳の授業が始まりました！！

夏本番が近づく中、６月から水泳の授業が始まりました。コロナ禍の中、令和２～３年度は水泳の授業は実施することができず、令和４年度においても、水泳の授業は数回のみの授業となりましたが、今年度からは、通常通りの水泳授業が実施できるようになりました。

水泳は、体力をつけるのにとても良い運動です。これからも、水泳の授業を通して、健康な体を作っていってくださいね。

＜６月２０日（火）の低学年（１・２年生）の水泳授業の様子です＞

この日は、2･3限に1･2年生の水泳の授業を行いました。慣れない水の中ということで、緊張していた人もたくさんいたようですが、先生たちの指導のもと、みんな一生懸命、がんばってくれていましたね。

暑い中、水の冷たさが心地よさげです。まずは水になれるところからスタートしました。水の中に頭をつけたり、水の中を歩いたり･･･。水の感触を確かめながら、少しずつ、水に慣れ親しんでいってくれたようです、

伏しうきにも挑戦しました。にこにこと笑顔いっぱいの姿が、とても印象的でした。これからも、水泳の授業を通して、ぜひ、水に慣れ親しんでいってほしいと思います。